

【参考：提出書類】

区分	書類
若者チャレンジ型、 スタートアップ型	1 実績報告書 2 事業報告書 3 収支決算書 4 事業の収入・支出実績が確認できる領収書（費目ごとに整理しておいでください） 5 事業実施状況の分かるもの（写真、チラシ、その他資料など）

1 実績報告書（規則様式第5号）

東部地域振興事務所長
 中部総合事務所長
 西部総合事務所長
 西部総合事務所日野振興センター長

〇〇〇〇 様

令和〇〇年〇月〇日

各事務所長（センター長）宛としてください。

提出日を記入してください。
 報告書は事業終了後20日以内に提出してください。

住所
 申請者 氏名
 （団体にあつては、名称及び代表者（氏名）印

氏名を記名する場合には、押印を省略することができます。
 押印いただく場合は、団体の代表者印を押印してください。代表者印がない団体の場合は、代表者個人の私印でも構いません。

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助事業実績報告書

令和 年 月 日付第 号による交付決定に係る事業の実績について、
 鳥取県補助金等交付規則第 条第1項の規定により、下記のとおり報告します。

交付決定通知書の日付、番号を記入してください。

記

該当する補助金区分を記入してください。

補助事業等の名称	鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助事業（若者チャレンジ型 又は スタートアップ型（スタート支援、ステップアップ支援））	
交 付 決 定	算定基準額	交付決定額
	250,000円	150,000円
実 績	250,000円	150,000円
差 引	0円	0円
添 付 書 類	収支決算書(様式第6号(第9条関係))に記載される算定基準額を記入ください。 1 事業報告書 2 収支決算書(に準ずる書類)	

左記算定基準額に各申請区分に応じた補助率をかけた金額又は補助限度額のうち、いずれか低い額を記載ください。

2 事業報告書（様式第5号）

(1) 事業の区分

該当の事業区分の口に✓を記入してください。

(2) 事業の名称

実施した事業の名称を記入してください。

(3) 事業の目的

事業を実施することで実現しようとしたこと、解決したかった地域課題を踏まえて記入してください。

(300字程度)

例) 活気のなくなった〇〇地域の活性化を図るため、地元食材を使った青空レストランを実施すること。また、若者の県外流出を防ぐために高校生向けに大学生との交流会・相談会を開き、地域の魅力を再認識してもらおうとともに、将来的に地元へ寄与したいという思いを醸成させるきっかけとすること。

(4) 実施体制

ア 誰が事業を実施し、どのような関係者と連携を行ったかを記入してください。

例)

この事業での役職	氏名	この事業での役割・業務
代表	〇〇〇〇	事前の準備・広報、当日運営

既に組織図等がある場合は添付いただき、「別添のとおり」と記入していただいても構いません。

イ 主要な構成員について、交付要綱別表2欄に定める基準に抵触していない場合は口に✓を記入してください。

【交付要綱別表2欄に定める基準】

- ・若者3名以上が中核となって構成されている団体。(法人格の有無を問わない。)
- ・「政治・宗教・特定の思想の普及に関わる者」「暴力団又は暴力団員等の統制下にある者」は対象外

(5) 事業結果

補助金を受けて実施した事業の内容を、「いつ、誰を対象に、どこで、何をどのように」実施したのが明確に分かるように記入してください。実施された内容がわかるように、具体的に記載してください。実施した新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応を記載してください。

既存資料がある場合は、この欄には重要な部分のみを記入いただき、「別添資料参照」と記載して、関係書類を添付いただいても構いません。

例) 事業実施期間：令和〇年〇月～〇月頃 計〇回

対象者：〇〇地区住民、〇〇地区近隣住民

参加人数：〇〇名(各回〇名)

開催場所：〇〇

事業概要：・青空レストランを開催した。

・〇〇大学のアカペラサークルによるライブを実施した。

・来場者には会場内に設置する販売所で使える割引券を配布した。地元食材を買って帰っていただくことに繋げる。

新型コロナ感染症拡大防止対策：事業の実施にあたっては、政府又は県の新型コロナウイルス感染症特設サイトや報道機関等による最新の情報を注視し、各種要請や留意事項等を厳守した。

(6) 事業成果

事業を実施した結果どのような成果が得られたか、得られた成果の内容がわかるように、具体的に記載してください。

既存資料がある場合は、この欄には重要な部分のみを記入いただき、「別添資料参照」と記載して、関係書類を添付いただいても構いません。

例) ・地元食材を生かして青空レストランを開催したことで、来場者に〇〇地域の食材の魅力を知ってもらった。
・来場者に会場内に設置する販売所で使える割引券を配布したことで、多くの人に地元食材を買って帰ってもらった。

(7) 他の補助金等の活用

本事業において活用した他の補助金、助成金等があれば、その名称及び助成元の団体名を記載してください。県の補助金を重複して利用していないかを確認するのが主な目的ですが、県の補助金以外であっても使用していれば記載してください。

例) 〇〇町補助金 (ふるさと再生補助金) 30,000 円

(8) 消費税の取扱い

該当する区分にの□欄に✓を入れてください。

- 一般課税事業者 基準期間(前々事業年度)の課税売上高が 1,000 万円を超える事業者
- 簡易課税事業者 課税事業者の中で前々年の課税売上高が 5,000 万円以下であり、簡易課税制度を選択した事業者
- 免税事業者 基準期間(前々事業年度)の課税売上高が 1,000 万円以下で特定期間の課税売上高もしくは支払った給与等の金額が 1,000 万円以下の事業者

(9) 担当者連絡先

報告書の内容についてのお問合せや相談に対応いただける成人の方のお名前と、平日・日中に連絡がとれる連絡先を記入してください。

(10) 会計責任者連絡先

申請者が未成年の場合、補助金は法定代理人に支払うことを基本としますが、会計責任者を学校の課外活動を担当する教諭等が担う場合は、補助金の受領を教諭等に委任できるものとします。(法定代理人から委任状が必要) その場合は、教諭等の連絡先を記載してください。

申請者が成人の場合の会計責任者は、申請者でも申請者以外の成人の方でも構いません。

3 収支決算書（様式第6号）

参加費、その他の収入がない場合 ⇒記載例1参照

参加費、その他収入がある場合 ⇒記載例2参照

補助対象外経費がある場合 ⇒記載例3参照

【共通事項】

予算額：申請書に記載した金額を転記してください。

決算額：実際の収入及び支出を記載してください。

記載例1（参加費、その他の収入がない場合）

様式第6号（第9条関係）

令和〇〇年度鳥取県令和新时代創造県民運動推進補助事業収支決算書

収入の部

（単位：円）

区分	予算額	決算額	積算内訳
県補助金	150,000	150,000	令和新时代創造県民運動推進補助金（若者チャレンジ型）
自己資金	100,000	100,000	寄付金
参加費① （入場料、出展料等）			
その他の収入② 〔民間・市町村助成金、 販売収入等〕			
合計	250,000	250,000	

NPO 法人の賛助会費等、団体の活動全般に対する寄付は自己資金。当該事業を実施するための寄付はその他収入となります。

支出の部

（単位：円）

区分	予算額	決算額	積算内訳	
補助対象経費	需用費	45,000	45,000	テント：10,000円×4=40,000円 テーブルクロス：500円×10=5,000円
	委託費	25,000	25,000	ロゴデザイン料（業者に委託）
	使用料・賃借料	17,700	17,700	音響レンタル：14,700円 公民館使用料：3,000円
	印刷製本費	3,000	3,000	チラシ A4コピー 20円×100枚=2,000円 割引券印刷費：10円×100枚=1,000円
	原材料費	33,000	33,000	イス・テーブル製作材料費：28,000円 塗料代：5,000円
	消耗品費	116,300	116,300	「青空レストラン」「交流会・相談会」食材費：107,200円、 事務用品：2,000円（概算）、ペンキブラシ：1,000円×5本=5,000円、 割り箸：100円、紙コップ：200円、紙ナプキン：100円、 ビニール手袋：100円、キッチンペーパー：600円、食用油：1,000円
	光熱費	10,000	10,000	
補助対象経費計③	250,000	250,000		
補助対象外経費	なし	0	0	なし
	補助対象外経費計	0	0	
合計	250,000	250,000		

※算定基準額＝補助対象経費③－（参加費①＋その他の収入②）

=

250,000 円

記載例1における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③250,000円－（参加費①0円＋その他の収入②0円）＝250,000円

※参加費、その他収入は無いので減算は0となります。自己資金は減算しません。

記載例3（補助対象外経費がある場合）

様式第6号（第9条関係）

令和〇〇年度鳥取県令和新時代創造県民運動推進補助事業収支決算書

収入の部

（単位：円）

区 分	予算額	決算額	積算内訳
県 補 助 金	150,000	150,000	令和新時代創造県民運動推進補助金（若者チャレンジ型）
自 己 資 金	15,000	15,000	寄付金
参 加 費 ① （入場料、出展料等）	50,000	50,000	青空レストラン来場料 一人500円×100人=50,000円
その他の収入 ② 〔民間・市町村助成金、 販売収入等〕	50,000	50,000	〇〇町補助金（ふるさと再生補助金）50,000円
合 計	265,000	265,000	

支出の部

（単位：円）

区 分	予算額	決算額	積算内訳	
補 助 対 象 経 費	需用費	45,000	45,000	テント：10,000円×4=40,000円 テーブルクロス：500×10=5,000円
	委託料	25,000	25,000	ロゴデザイン料（業者に依頼）
	使用料・賃借料	17,700	17,700	音響レンタル：14,700円 公民館使用料：3,000円
	印刷製本費	3,000	3,000	チラシ A4コピー 20円×100枚=2,000円 割引券印刷費：10円×100枚=1,000円
	原材料費	33,000	33,000	イス・テーブル製作材料費：28,000円 塗料代：5,000円
	消耗品費	116,300	116,300	「青空レストラン」「交流会・相談会」食材費：107,200円 事務用品：2,000円（概算）、ペンキブラシ：1,000円×5本=5,000円 割り箸：100円、紙コップ：200円、紙ナプキン：100円 ビニール手袋：100円、キッチンペーパー：600円、食用油：1,000円
	光熱費	10,000	10,000	
	補助対象経費計③	250,000	250,000	
補 助 対 象 外 経 費	食糧費	12,000	12,000	スタッフ昼食代 800円×15名=12,000円
	交通費	3,000	3,000	スタッフ所有車両使用料
	補助対象外経費計	15,000	15,000	
合 計	265,000	265,000		

○食糧費については、活動団体内部の者に対する給付（会議の茶菓、懇親会経費など）は対象外ですが、講師に提供する昼食等、必要最低限のものは対象となります。
○個人給付的な経費は対象外です。（講師への報償費及び旅費や団体構成員への委託費除く）

※算定基準額 = 補助対象経費③ - (参加費① + その他の収入②) = 150,000 円

記載例3における算定基準額の算出の仕方は、

補助対象経費③250,000円 - (参加費①50,000円 + その他の収入②50,000円) = 150,000円

※補助対象外経費は含まずに算出します。